
障害者のニーズに見合った用具や機器の見つけ方

日本ライトハウス情報文化センター
サービス部 林田 茂

3つのポイント

① お話を聴く

その方が、不安や不便に思っていたり、困っていたりしていること
その方が、やりたいこと
その方の生活の環境 など
見えにくさや見え方は、人それぞれです。

② 実際に体験してもらう

触ってもらう
使って（操作して）もらう
見ってもらう（その方の見たいものを見ってもらう）
音を聴いてもらう
※別の用具と組み合わせて、さらに用具を活用することもできます。

③ 情報のネットワークを使う

適正な人やグループ、場所につないでいく

- 別紙：1. 情報文化センター エンジョイ！グッズサロン 案内
2. ニポラチャンネル
3. スマートサイト『大阪あいねっと』



見えない・見えにくい方のための
エンジョイ!
グッズサロン
日本ライトハウス 情報文化センター

